

『ぜん息患者の医療費救済』制度を求めて

【発行】

全国公害患者の会連合会
東京都新宿区新宿2-1-3
サニーシティ新宿御苑 10階
TEL03-3352-9475
FAX03-3352-9476

国会通信

今度こそ、『ぜん息患者医療費助成制度』の実現を！

先生方には、お世話になっています。全国公害患者の会連合会は、平成28年（2016年）10月から、「ぜん息患者医療費救済制度」の創設を求めて、①署名運動、②紹介議員を中心とした運動をスタートさせました。この取り組みは、平成22年（2010年）10月に「学習決起集会」を東京で開催しました。この時の運動では、約38万の署名と59名もの先生方がわたしたちの取り組みに賛同していただき、紹介議員を承諾していただきました。

3回にわたり、署名を提出しましたが、残念ながら私どもの努力が足らず、実現には至りませんでした。

ぜん息患者が多数いる状況があり、また、「急激な症状悪化を繰り返し生じさせ」、「生活環境に係る多様かつ複合的な要因によって発生し、かつ、重症化」してしまいます。患者は、ぜん息発作、金銭的、社会的な苦しみと二重、三重の苦しみの中で生活しています。私たち患者は、国の段階で、「ぜん息患者医療費助成制度」の創設を熱望しています。

全国の仲間が一丸となって進めています。

紹介議員の先生は、衆議院で19人、参議院で7人の合計26人（8月30日現在）となっています。

大牟田・北九州の患者会が福岡選出議員、神戸患者会が兵庫選出議員、名古屋の患者会が愛知選出、東京・川崎の患者会は、各々の都・県選出の議員に加え、南関東、北関東選出議員に、埼玉の未認定患者を中心に埼玉選出の議員要請をおこなっています。

各地患者会は、今度こそ「医療費救済制度の実現を」と燃えています。

全国から集められる署名！

署名は、全国から寄せられ、10カ月の間に125,611名分となりました。毎日毎日、患者会事務所に署名が届けられています。患者が病気の体を押して、暑い中、団体、労働組合を回り、集めてきた大切な署名です。署名とともに、「うちの孫がぜん息で、大変なの・・・早く国に医療費救済制度をつくってほしい」という声が寄せられています。